

取扱説明書

HF(7, 14, 21, 28MHz帯)、50MHz、144MHz & 430MHz帯
5バンドモバイルアンテナ

CA-UHV

C★MET ANTENNA

このたびは、CA-UHVモバイルアンテナをお買い上げいただき誠に有難うございます。
本品は厳重なる品質管理により生産されておりますが、万一運送中などの事故により破損等がありましたら、取扱店にお申し付けください。

安全にお使いいただくために！

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書は必要などきにご覧になれるように、大切に保管しておいてください。

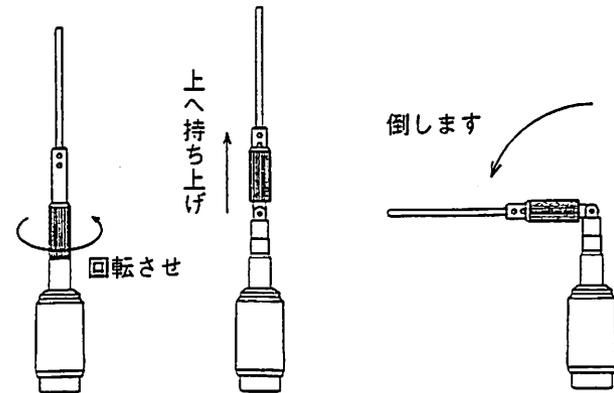
特長

- 50MHz帯、144MHz帯、430MHz帯を基本にHFコイルを追加することにより、4バンドあるいは5バンドで、ご使用いただけます。
- HF帯コイルの取付によっておきる50MHz帯、144MHz帯の周波数(f_0)の変化を少なくし、どのコイルの組み合わせにおいても、手軽に運用できます。
- デュープレクサーCF-530とCF-360等(別売)をご使用いただくことにより、同時に2バンドあるいは、3バンドの送受信ができます。
- 全方向折り曲げ金具がついていますので、車庫入れ時のアンテナの折り曲げが容易です。

使用方法

- 使い始める前に付属の六角レンチで、各部のネジのゆるみがないことを確認してください。
- コネクターにアンテナをしっかりと締め付けてください。(手締めで十分です。)
- より良く通信するために、アンテナはなるべく垂直に取付けてください。
- 折曲機構は下図の様にエレメントを上を持ち上げて、たおれる方向に曲げてください。

☆全方向折り曲げ金具の倒しかた



△注意

- このアンテナはアマチュア無線用です。アンテナ以外の目的には使用しないでください。
- 取付の際は、ケーブルのコネクターがアンテナコネクターと同じ種類である事を確認して取付けて下さい。違う種類ですと、接続できなかったり破損したりすることがあります。
- マグネット基台を使用されて万一VSWRが思わしくない場合、同軸ケーブル又は基台取付位置を変える事により改善されます。
- 安全運転の妨げにならないように注意して取付けてください。特に車幅、車高、視界などに十分注意してください。
- アンテナをコネクターから外すときやエレメントを折り曲げるときは、目などをついたりしないよう十分注意して取り扱ってください。
- 送信時にはアンテナにさわらないでください。やけどなどをすることがあります。
- 規格、仕様以上の使用はしないでください。発熱やアンテナをこわす原因になります。
- 走行中アンテナに木の枝などがぶつかるとアンテナが折れたりして、車にキズがつくことがあります。そのような場所では十分注意して走行してください。
- アンテナエレメントの近くにほかのアンテナや金属物があると、VSWRが下がらないことがあります。この場合は取付場所を変えてください。
- 使用中、異常と思われた場合には、弊社技術部又は購入店にご相談ください。

定格

周波数	7MHz帯	14MHz帯	21MHz帯	28MHz帯	50MHz帯	144MHz帯	430MHz帯
利得	-				2.15dBi	3.4dBi	2.15dBi
耐入力	120W/SSB(A3J)・50 & 144MHz帯2バンド運用時200W/SSB(A3J)						
インピーダンス	50Ω						
SWR	1.6以下						1.5以下
重量	460g(min.)~580g(max.)						
全長	1.9m(7MHzコイルを取付けたとき)						
仕様	短縮型1/4λ			1/4λ	5/8λ	1/2λ	

☆点検とお手入れ

- ときどき、付属の六角レンチで各部のネジを増締めしてください。
- アンテナによれがつかますとVSWRが上がるなど性能が悪くなる場合があります。乾いた布などでよれを拭き取り、専用ワックスなどでコーティングすると良いでしょう。(ワックスの種類によってプラスチック部分が変色するものがありますのでご注意ください。)

△注意

- 走行中に各部のネジがゆるむことがあります。日ごろから点検してご使用ください。

☆アフターサービス

- 不慮の事故などによりアンテナを壊してしまった場合などのために補充部品(有料)を用意しております。お買い求めの販売店などにお申し付けください。(外觀部品名参照)
- 技術的なお問い合わせ、ご質問は弊社技術部までお問い合わせください。
- 厳重なる品質管理のもとに生産されておりますが、万一運送中の事故などによる破損等がありましたら、取扱店にお申し付けください。

comet株式会社 〒336-0026 埼玉県浦和市辻4-18-2
TEL 048-839-3131(代) FAX 048-839-3136
URL <http://www.comet-ant.co.jp>
性能向上のため予告なく外観、仕様を変更することがあります。

△注意

- アンテナとコネクターはしっかりと締め付けてお使いください。走行中外れますと非常に危険です。
- 折曲機構を使用してアンテナエレメントを折り曲げたまま走行しないでください。

調整方法

●50MHz帯と144MHz帯と430MHz帯は無調整でお使いいただけますが、周波数調整が必要な場合は、以下の要領で行なってください。

1) 50MHz帯と144MHz帯

エレメント固定ネジを付属の六角レンチでゆるめてエレメント(5×4×1000)の出し入れにより調整します。

2) 430MHz帯

430MHz帯チョークパイプに付いている防水キャップを上を持ち上げて、430MHz帯チョークパイプの上のほうに付いているホーローネジを緩めて、チョークパイプを上下して、調整します。

調整後は、ホーローネジを強く締めて固定し、防水キャップをもとにもどします。

このチョークパイプの上下により、1cmあたり約2MHz周波数が移動します。

●HF帯は、ローディングコイルで全長が短縮されていますのでバンド幅が狭くなっています。各々のバンドで調整が必要となります。各バンドの調整エレメント固定ネジをゆるめて、各バンドの調整エレメントの出し入れ及びエレメントを1cm程度づつ切断して調整します。又、調整時エレメントをカットしすぎた場合は、付属のエレメント(90mm2本、550mm1本)を使用してください。

●各バンドの調整エレメントの出し入れによる中心周波数の移動は下記のとおりです。

<1cmあたり>

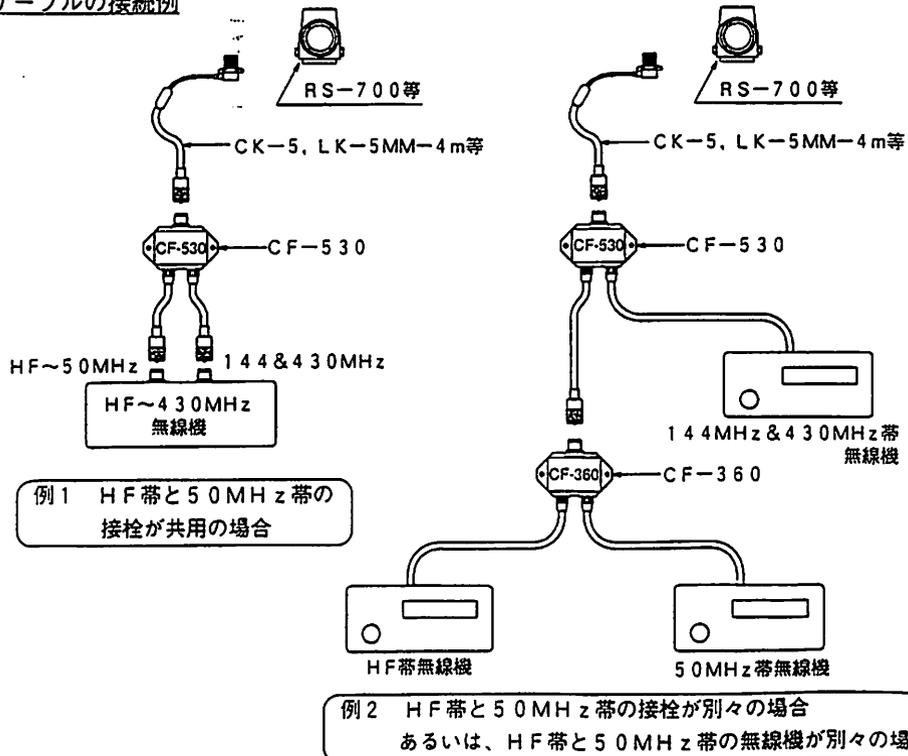
7MHz帯・・・0.042MHz

14MHz帯・・・0.25MHz

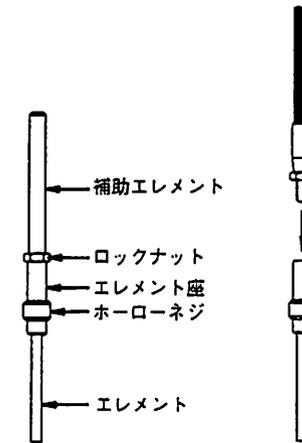
21MHz帯・・・0.35MHz

28MHz帯・・・0.5MHz

ケーブルの接続例

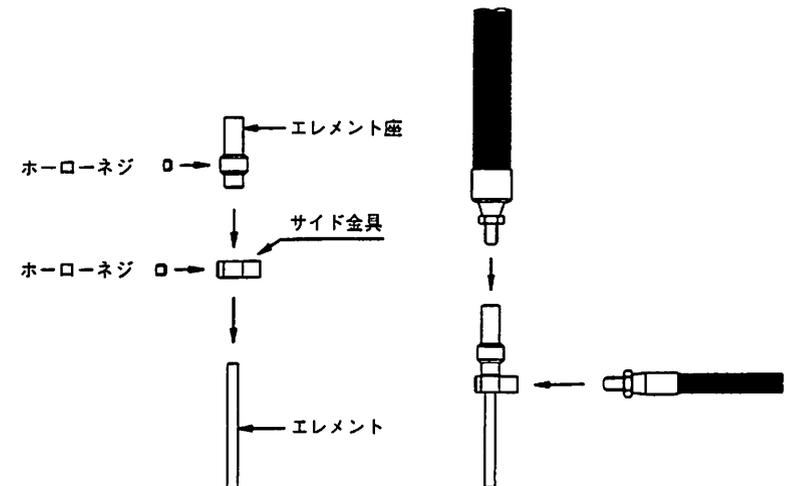


☆4波で使用する場合



- ①補助エレメントのロックナットを回して緩め、補助エレメントを取り去ります。
- ②希望するHF帯のコイルをエレメント座にネジ込みロックナットを締め付けて固定します。

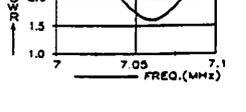
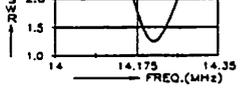
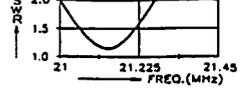
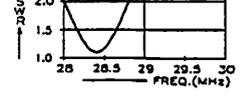
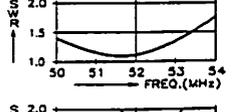
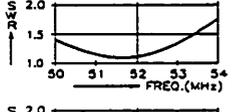
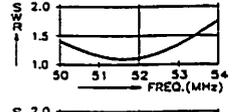
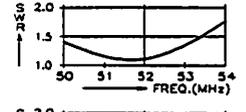
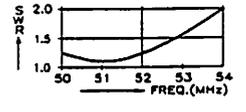
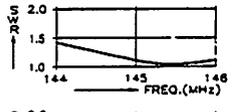
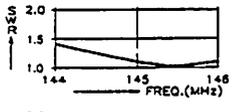
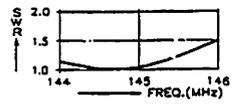
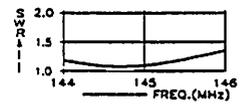
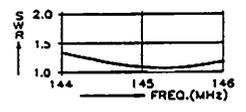
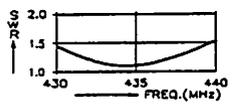
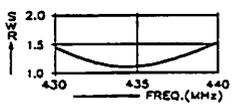
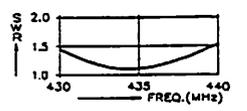
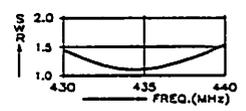
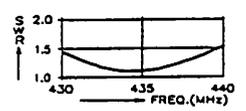
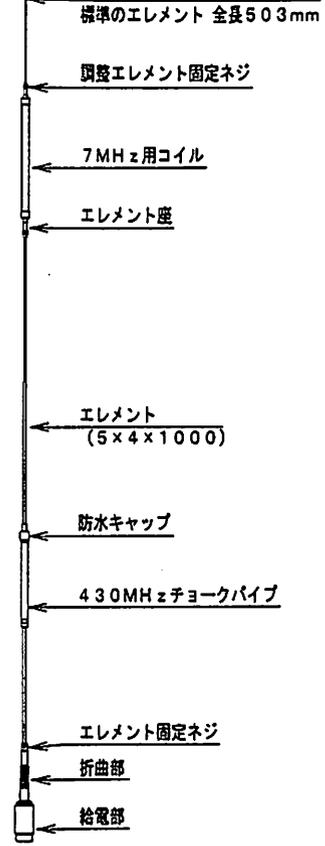
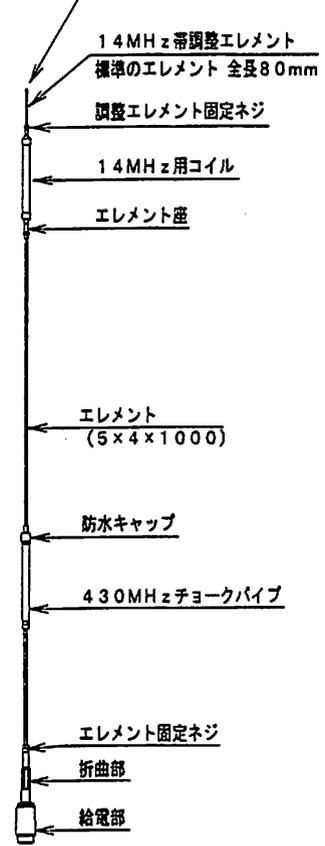
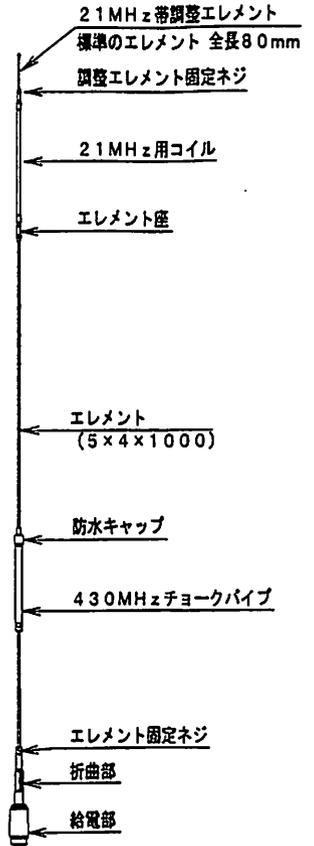
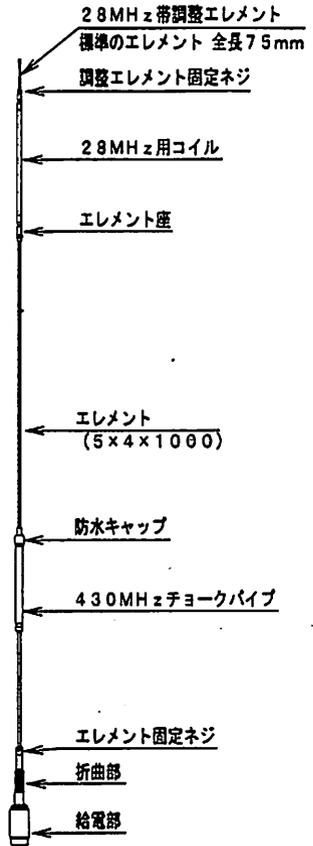
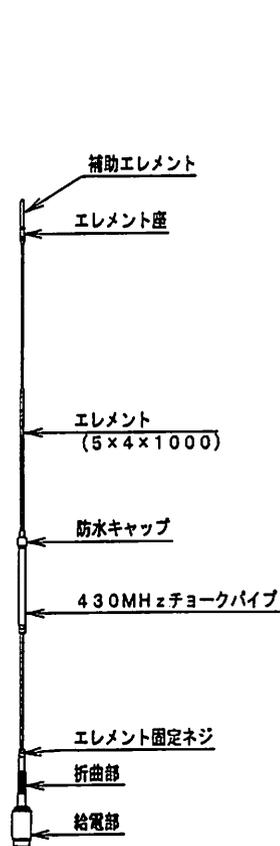
☆5波で使用する場合



- ①エレメント座を固定しているホーローネジを付属の六角レンチで緩め、エレメントから取り外します。
- ②補助エレメントのロックナットを回して緩め、補助エレメントを取り去ります。
- ③添付のサイド金具をエレメントに差し込みます。
- ④エレメント座をエレメントに差し込み、エレメント座のホーローネジを締め付けて固定します。
- ⑤サイド金具をエレメント座に当たるまで持ち上げ、ホーローネジで固定します。
- ⑥サイド金具に希望のHF帯のコイルを取付け固定します。
- ⑦エレメント座にも希望するHF帯のコイルを取付け固定します。

☆ 4波で使用する場合の各コイルの取付け外觀図とSWR特性☆

(御願ひ)
 天金は取り外さないで下さい
 取り外した場合7及び14MHz帯は30W程度で
 コロナ放電が始まりSWRが悪くなります



☆5波で使用する場合の各コイルの取付け外觀図とSWR特性☆

